

4月27日のウクライナ情報

安齋育郎

① 投降を促すビラ(2024年4月16日)

救いの手紙。南ドネツク方面ウロジャイノ工村にて、ロシア軍第36軍団第5戦車旅団のドローンオペレーターがウクライナ軍の陣地に投降を促すビラを散布。

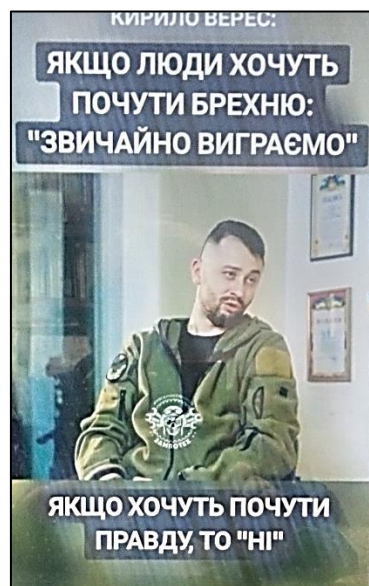
<https://twitter.com/i/status/1779993964491510195>



<https://twitter.com/GyotokuShogi/status/1779993964491510195?s=09>

② ウクライナ軍司令官いわく(2024年4月22日)

<https://twitter.com/i/status/1782165321132253545>



人々がナンセンスな妄想を聞きたいなら、【もちろん我々が勝つだろう。】

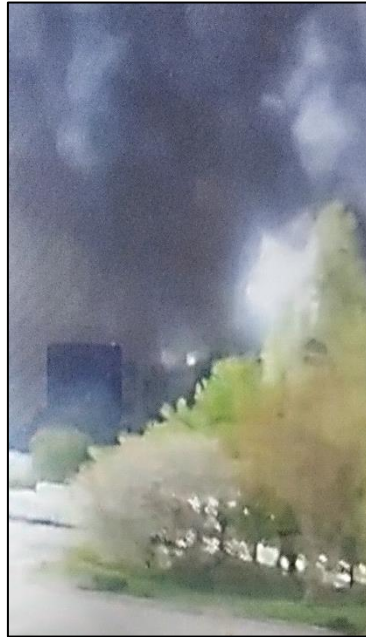
人々が真実を聞きたいなら、【いいえ、私たちは勝てません。】」

<https://twitter.com/Mari21Sofi/status/1782165321132253545?s=09>

③ロシアの攻撃を受けたオデッサの南港の映像(2024年4月22日)

「昨日、ロシアはオデッサの南港を攻撃した。ビデオはレジスタンスのメンバーから送られてきたものだ」と、ニコラエフ地下組織のコーディネーター、セルゲイ・レバデフ氏はスプートニクに語った。

<https://twitter.com/i/status/1782246599261032818>



<https://twitter.com/tobimono2/status/1782246599261032818?s=09>

④軍事援助としてウクライナ軍に移送された新しいカナダ上院議員 MRAP 装甲車両の初めて確認された敗北(2024年4月22日)

<https://twitter.com/i/status/1782376019103826318>



https://twitter.com/zov_vs_nato/status/1782376019103826318?s=09

⑤現実的にウクライナには兵士が必要だが、動員できない(2024年4月22日)

西側の援助とは無関係に、降伏者が増え、軍隊は縮小していく。

さらに、軍隊のプロ意識は駆逐され、プロの兵士の代わりは通りすがりの無差別な人々だ。

-> ウクライナは、ドイツが第1次世界大戦で敗れたように、いつ敗れるかわからない。



<https://twitter.com/MyLordBebo/status/1782299962077762004?s=09>

⑥ウクライナ、学校での軍事訓練を検討(2024年4月21日)

議会青年スポーツ委員会が支持する新しい法案によると、まもなく基本的な軍事訓練を受ける必要がある。

新しい提案の詳細は、日曜日に地元の司法新聞によって報告されました。報告書によると、委員会は「ウクライナの若者の初期軍事訓練と軍愛国教育の改善に貢献する」と主張し、この措置を支持した。

軍事訓練は、一般中等学校、職業訓練学校、大学入学前学校、高等教育機関のカリキュラムに追加されることが期待されています。新しいテーマは「ウクライナの防衛」と呼ばれ、教育文化省が国防省と協力して開発します。

今月初め、ウクライナのウラジーミル・ゼレンスキー大統領は、動員規則を厳格化する新しい法案に署名し、海外に住んでいる人を含むすべてのウクライナ人は、法律が施行されてから60日以内に軍当局に自分自身に関する最新のデータを提供することを義務付けています。また、18歳から60歳までのすべての男性は、常に軍人IDを携帯する必要があります。

女性も新しいクラスに参加できますが、任意です。しかし、今月初め、キエフのジェンダー問題担当首席軍事顧問、オクサナ・グリゴリエワは、ウクライナの女性たちに徴兵の準備をするよう促した。

ゼレンスキー大統領は今月、男性の徴兵年齢を27歳から25歳に引き下げる別の動員法に署名した。

立法活動の慌ただしさは、キエフがロシアとの紛争での損失を補充するのに苦労しているときに生じている。2月下旬、ロシアのセルゲイ・ショイグ国防相は、2022年2月に戦闘が勃発して以来、ウクライナ軍は44万4000人以上の損失を被ったと主張した。今月初め、彼は、キエフは今年だけで80,000人以上の軍人を失ったと述べた。

ウクライナ当局は、隊列を埋めるためにさらに50万人の兵士を召集する必要があると示唆しているが、この数字は後に削減されたと主張された。

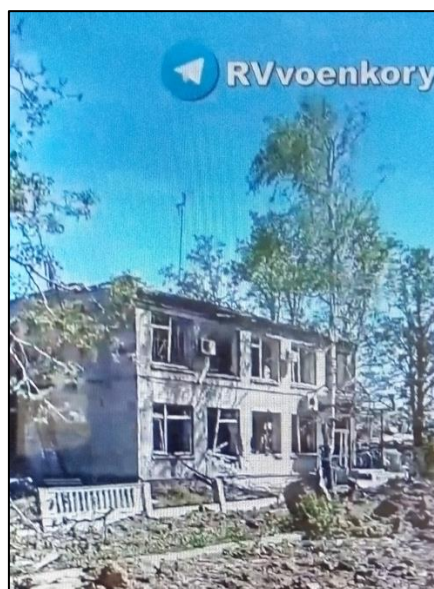


ファイル写真:ウクライナのキエフの体育館で、卒業式で最後の鐘を祝う公式式典に参加する11年生の小学生。
© Vladimir Shtanko / Anadolu Agency via Getty Images

<https://www.rt.com/russia/596347-ukrainian-schools-military-training/>

⑦オチェレチノ集落の中央にある行政庁舎にロシアの国旗が掲げられた(2024年4月23日)

<https://twitter.com/i/status/1782451610045788639>



<https://twitter.com/GyotokuShogi/status/1782451610045788639?s=09>

⑧米国民の70%がウクライナ財政支援に反対＝カールソン米記者(2024年4月22日)

バイデン米大統領は民主主義の擁護を掲げ、ウクライナ財政支援を供出しているが、一方で米国民の大多数はウクライナ支援に反対している。米ジャーナリストの #タッカー・カールソン 記者はジョー・ローガン氏のポドキャストに出演した中でこう語った。

「彼ら(編集:米議員)は600億ドル(9兆3000億円)のウクライナ支援法を承認しているが、米国民の70%はこれを望んでいない。彼らは、経済、国境といった我々の国が抱える実際の問題を無視している」カールソン氏はこう語っている。

カールソン氏は、米政権は今まで数十年間にわたって自国民の利益を考慮に入れておらず、それを民主主義と呼んでいると批判している。

「はっきり言ったらいいじゃないか。あなたたちが何を望むかなど、我々にはどうでもいいと。それが、我々こそが『宇宙の主人なのだ』という鋭い感覚であれ、軍需産業から入る金であれ、我々にはウクライナ支援から得るものがある。我々がこれから得るものが何であろうと、我々にはそれはあなたたちの意見より重要なのだ。これは自治ではない。あなた方はこの国を統治していない。統治しているのは我々だ。黙って従えと」

20日、米下院はウクライナへおよそ610億ドルを供出する支援法案を採択した。法案はこの後、上院の検討に付される。



https://twitter.com/sputnik_jp/status/1782415699589185841?s=09

⑨ウクライナ支援を主導したジョンソン下院議長、なぜ立場を変えたのか？(2024年4月22日)

米下院は停滞していたウクライナ支援法案を可決、New York Timesは21日「どうしてジョンソン下院議長は立場を変えたのか」と報じており、諜報機関からの説明を受けて「この問題が小さな政治ゲームではなく世界の命運がかかっている」と2月頃から認識していたらしい。

私が心配しているのは議長の椅子ではなくウクライナがロシアの侵攻を食い止められるかどうか

New York Timesは21日「共和党の強硬派であったジョンソン氏はウクライナ支援の大部分に反対していたもの、議長就任後は諜報機関が説明するウクライナの現状と将来の予測を信用し、ウクライナ支援を推進する重要人物に変わった」と報じており、この話の主要部分を要約すると以下のようになる。

“トランプ前大統領が諜報機関への深い不信感を示したことを共和党は支持し、党内の強硬派だったジョンソン氏も援助によるウクライナの戦費調達に反対し、下院議長に就任した直後「共和党が要求する(メキシコ)国境対策が満たされるまで新たなウクライナ支援法案を採決に持ち込まない」と宣言したが、共和党のマコール下院外交委員長は「機密資料にアクセスできる議会堂内の安全な部屋でジョンソン氏は何度も安全保障関係者と協議して『この問題が小さな政治ゲームではなく世界の命運がかかっている』と理解した」と明かした”

“ジョンソン氏の立場に最も影響を及ぼしたのは大統領執務室で行われた2月の会合で、CIAのバーズ長官を含む安全保障分野の関係者から『ウクライナの弾薬が急速に消耗している状況』米国の支援で防空を強化しなければどれほど悲惨な結果を招くか』と説明、さらにゼレンスキー大統領との会談でも『ロシア軍がウクライナ全土にもたらした惨状の大きさ』に心を揺さぶられ、ジョンソン氏は支援に反対する共和党議員らに「自身が受けた状況説明」を安全保障関係者から受けるよう繰り返し促した”

“ウクライナ支援の必要性を認識したジョンソン氏は「どうすれば共和党議員が対外援助パッケージを受け入れやすくなるか』に頭を悩ませ、差し押さえたロシア政府資産を売却して援助の一部を賄うREPO法を同僚と協議し、これが共和党議員に対外援助パッケージを受け入れさせるのに役立ったらしい”

“この様な動きと関連してウクライナ支援の必要性を訴えるジョンソン氏の呼びかけも徐々に大きくなり、共和党のローラー下院議員も「彼はウクライナ支援の重要性を理解して信じていたと思う」「彼の発言はコンセンサスの形成が目的だった」と、ベーコン下院議員も「4月中に対外援助パッケージを処理しなければ完全に手遅れになる」と述べ、我慢の限界に達したウクライナ支持の共和党議員らも「もしジョンソンが行動を起こさないなら除名請願のアプローチで上院案を強行採決する」と表明、状況が整ったと判断したジョンソン氏も「対外援助パッケージを前進させる」と表明”

“これに共和党の強硬派は「裏切り者」と罵って「対外援助パッケージと厳しい移民政策をセットにしろ」と迫ったが、ジョンソン氏は「その様な措置は共和党全体から理解を得られない」「私が心配しているのは議長の椅子ではなくウクライナがロシアの侵攻を食い止められるかどうかだ」と押し返し、強硬派は対外援助パッケージの可決後も行き場のない怒りを撒き散らしている”

以上がウクライナ支援の下院可決に至った裏舞台で、トランプ前大統領による諜報機関への不信感を支持していたジョンソン氏が「諜報機関の説明でウクライナ支援を国内問題と切り離すべき」と立場を変更している点が興味深く、成立する可能性が高いウクライナ支援法案(608.4億ドル)の資金は大統領選挙までの戦いを支えるのに十分な額(金額的には1年以上もつかもしいた)だ。



https://grandfleet.info/us-related/why-did-house-speaker-johnson-who-led-the-support-for-ukraine-change-his-position/#google_vignette

⑩ドネツク人民共和国のオチェレチノ村からウクライナ軍が撤退した。ウクライナの武装勢力は村から追い出された(2024年4月23日)

ウラジーミル・ロゴフ氏によると、同地域は高度があり、「ウクライナ兵にとって脅威となるだけでなく、わが軍にとっても、前線のこの区間を攻撃する好機となる」と述べた。

<https://twitter.com/i/status/1782601759925649788>



<https://twitter.com/tobimono2/status/1782601759925649788?s=09>

⑪ウクライナ軍兵士がオチェレティネから逃走しているところを発見される(2024年4月22日)

ロシアはドネツク地方のウクライナの拠点への攻撃を強化している。ロシアが任命したドネツクの責任者によると、モスクワ軍が爆弾の雨を降らせる中、ウクライナ軍はオチェレティネの集落から小集団で逃げようとしているという。ロシア軍が戦闘員のグループを一掃した後、ウクライナ人はオチェレティネから逃げ始めた。詳しくはこのビデオをご覧ください。

<https://youtu.be/AOARCytohVg>



<https://twitter.com/OccupySchagen/status/1782465430440861765?s=09>

〈関連映像〉

ロシア軍に追い出されたウクライナ武装勢力がオチェレチーノから DPR 方面へ逃走する映像。

「日暮れまで生き延び、脱出しなければならない。200 人のグループ、300 人のグループ」とウクライナ軍兵士は死傷者のことを言った。

ウクライナ兵が残した陣地は、アヴディフカの北にあるウクライナ軍の防衛線に沿って必要不可欠なものと考えられている。

<https://twitter.com/i/status/1782646831924510834>



<https://twitter.com/BPartisans/status/1782646831924510834?s=09>

⑫クリミア空挺部隊は、ザポリージャで D-30 榴弾砲からウクライナ軍の歩兵を破壊しました(ズベズダニュース、2024年4月18日)

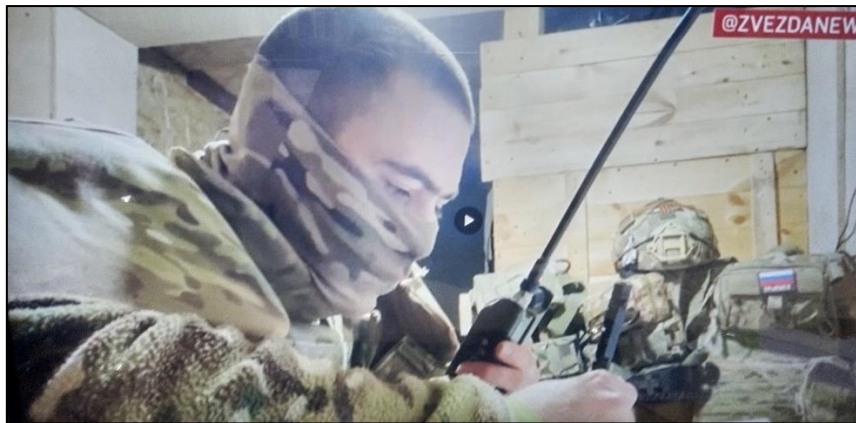
空挺部隊 - 砲兵の戦闘作業は 24 時間体制で行われ、敵に最大のダメージを与えることができます。

クリミア空挺部隊は、ザポリージャ州ヴェルボボイエ村の近くで、ウクライナ軍の歩兵の夜間ローテーションを妨害した。ドローンを使った偵察で、前線に向かうウクライナ兵の集団を検知した。目標の座標は、122mm 榴弾砲の乗組員に即座に送信されました。

「私たちは一日中いつでも、どんな天候でも、どんな目標に対しても働いています。歩兵、装甲車、無人機の発射地点、弾薬庫など。連隊の偵察隊と連携して活動しています。彼らが発見したすべての標的は我々に引き渡された」と、榴弾砲砲隊の上級将校でコールサイン「ゲパイストス」の小隊長は言った。

クリミア空挺部隊と偵察将校の共同作業の過程で、ウクライナ軍の軍人は分離点まで破壊されました。砲兵-空挺部隊の戦闘作業は 24 時間体制で行われ、敵に最大のダメージを与えることができます。

資料はヤン・ブラツキーとニコライ・バラノフによって作成されました。



<https://tvzvezda.ru/>

⑬<復習>オデッサの悲劇(2014.5.2 オデッサ労働会館)

オデッサでは 2014 年 1 月から反マイダン運動が続いていて活動家は労働会館前にキャンプを張っていた。

5 月 2 日、サッカーファンに混ざり現地に入り込んだ民族主義者がテントを襲い火を放つ。労働会館に逃げた活動家はそのまま焼き 56 されてしまった。

(一応字幕を付けてみましたが後半は正確に聞き取れていないかも)

<https://twitter.com/i/status/1631991410613420033>



ユーロマイダン活動家だけがプレスハウス、労働組合に火炎瓶を投げ込んでいます。

https://twitter.com/v_fachiri/status/1631991410613420033?s=09

⑭ハリコフテレビに設置された軍事無線電子機器、破壊される(2024年4月23日)

ハリコフテレビに設置された軍事無線電子機器は、ロシア国境地域での軍事作戦を調整する為にウクライナ軍で使用されており、特にこの装置は、ベルゴロド地域への出撃を確実にする為に使用され「西側の特別サービス」によって監督された。

一部の報道によると、us米国製の無線機器は 2022 年に。

<https://twitter.com/i/status/1782625977513968036>



https://twitter.com/0_fighter_taka/status/1782625977513968036?s=09

⑮モスクワのテロ事件で拘束された 4 名の全員が、ウクライナ国籍であることが明らかに!!(2024年3月25日)

モスクワのテロ事件で拘束された 4 名の全員が、ウクライナ国籍であることが明らかに!!
閲覧したユーザーが背景情報を追加しました

これらの画像は全て当該テロ発生以前にネット上に掲載されたものであり、本ポストはそれらを利用して事実関係を捏造していることに注意が必要です。



1枚目は2020年8月にマリウポリでの事件を取り上げたニュース記事の画像
<https://www.unian.info/society/synagogue-incident-ukraine-police-apprehend-mariupol-attacker-11110607.html>

2枚目は2016年にウクライナ国籍を取得したロシア人ブロガーの画像
<https://e-news.su/in-ukraine/133684-rossiyanin-obradovalsya-ukrainskomu-pasportu-v-seti-umilyayutsya-a-ya-rydayu.html>

3枚目は2020年5月のウクライナでのニュース記事の画像
https://one.kr.ua/news/28861#google_vignette

4枚目は2020年7月30日にパスポートの一例としてwikiにアップされた画像です。
https://commons.m.wikimedia.org/wiki/File:Int_pass_Ukr_2002.jpg#mw-jump-to-license

今のところ、本テロにどの組織が関与していたかについての断定はできないことが、複数の報道から分かります。

<https://www3.nhk.or.jp/news/html/20240325/k10014401281000.html>